

海の障害者設備適合施設(海のバリアフリー認定施設)認定は、海の障害者設備指針に基づき障害者セーリング協会が行っています。

未来へ、バリアフリーで海をすべての人に開く

海の事業を維持継続するのにバリアフリー化は社会が求めるものです。

当事者団体が長年の経験実績を社会に生かす。

海の障害者設備指針(協力:国土交通省港湾局)を基に海のバリアフリー施設適合認定。

海洋レジャー・海洋スポーツで海への社会参加機会の増加し、海への理解を高め参加人口を増やす。

ボートヨットにはゲストの乗船が多く有り、一般市民で多様性が求められます。

施設のバリアフリー化で海への社会参加者の増加、理解を高める事が出来る。

バリアフリー化で港湾技術開発を促進する。

改訂施行される障害者差別解消法の合理的配慮を見据えて。

令和4年度海の障がい者設備適合の認定希望施設の認定及び第2回調査を予定。

ボランティアによるバリアフリー調査

施設入口から付帯設備も含めボートヨットまで段差なく行けること、障害者トイレ、障がい者駐車場の設置の有無、可動スロープについて調査を実施。

令和2年より海洋レジャー・海洋スポーツのバリアフリー設備についてボランティアにより現地調査を実施しましたが新型コロナウイルス感染症に関する自粛要請等により中断。



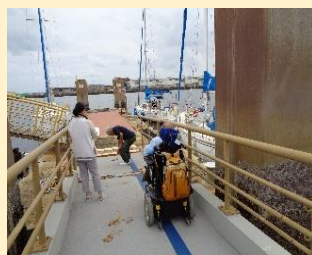
スロープ計測



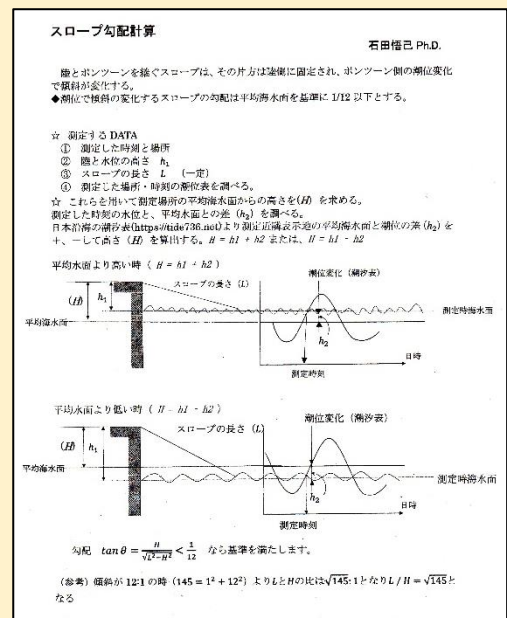
ポンツーン計測



建屋施設計測



スロープ計測



令和3年6月より調査書による調査を開始。全国250事業者(マリーナ、ヨットハーバー、海の駅、ボート免許関連)に調査書を配布。50事業者以上より回答があった。

確認書をお送りして設備の確認を行い

調査した事業者について海の障がい者設備適合施設(海のバリアフリー施設)として認定いたしました。

また、基準に満たない事業者には海の障害者設備指針を基に改善提案書をお送りいたします。

バリアフリー認定希望の事業者は本会事務局 khc03073@nifty.com に申し込み下さい。

海の障がい者設備適合施設(海のバリアフリー施設)認定へ

海洋レジャー・海洋スポーツ事業者の横断的なバリアフリー調査。海への入り口をバリアフリーに！
施設は、設置者と管理者が違う例が多く、施設を対象として調査を実施し海の障がい者設備適合施設(海のバリアフリー施設)に認定した。

管理運営者はバリアフリー設備設置への権限が無いようでバリアフリーへの関心が低い。障害者差別解消法が改定され合理的配慮が義務化への対応が心配される。

またボート免許教室関係事業者からの回答でまともなものは 0 件、国家試験に係る事業者のバリアフリーへの関心が低いことに愕然とした。ボート免許を所轄する国交省は試験の機会均等、合理的配慮の義務について考えてほしい。

海の障害者設備指針(協力:国土交通省港湾局)に準拠した施設には認定書をお送り、認定とならない施設には改善提案書と海の障害者設備指針第 2 刷を送付予定、施設のバリアフリー化を促進します。

目指せ！海のバリアフリー、改善提案書提出

ボランティアによる海の障害者設備適合施設認定部会で走路面の状況、可動スロープの傾斜の算出等を海の障害者設備指針に準拠してバリアフリー施設に 10 事業者を認定。

コロナ禍で現地調査を実施出来ませんでしたので、不明点について確認書をお送りして現状の確認をいたしました。

バリアフリー施設として認定となら事業者には海の障害者設備指針に沿った改善提案書をお送りし、設置者、管理運営者へ施設のバリアフリー化を提言します。

海のバリアフリー認定施設(海の障がい者設備適合施設)

海の障害者設備指針(協力:国土交通省港湾局)に準拠した施設。合理的配慮の設備の有る施設です。

別府港北浜ヨットハーバー

NTP マリーナりんくう

佐賀県ヨットハーバー

五日市漁港フィッシャリーナ

竹原海の駅

稲毛ヨットハーバー

夢の島マリーナ

横浜ベイサイドマリーナ

うみんぴあ大飯マリーナ

蒲郡バリアフリーポンツーンマンボウ

大分県別府市北浜 1-818-386

愛知県常滑市りんくう町 3-6-1

佐賀県唐津市二タ子 3-1-8

広島県広島市佐伯区海老園 3-25-1

広島県竹原市港町 4-2-24

千葉県千葉市美浜区磯辺 2-8-1

東京都江東区夢の島 3-2-1

神奈川県横浜市金沢区白帆 1

福井県大飯郡おおい町成三海 1-16-2

愛知県蒲郡市港町 1150



認定施設の表記ステッカー

(令和 3 年 12 月末)

海のバリアフリー施設認定開始

令和 4 年 1 月 12 日蒲郡バリアフリーポンツーンマンボウで認定部会員の金子哲三、林義則、前田次雄、佐藤善夫、高木文彦さんより愛知県三河港事務所、蒲郡市建設課の方に認定書をお渡し、海の障がい者マークステッカーを案内板に表示いたしました。

日本初の施設認定となり、新聞社等の取材もありましたが、参加者一同晴天、強風(12m)のとっても寒かったです。

うみんぴあ大飯マリーナに中田昭博さんが伺いましたが、他の認定施設へは、オミクロン株拡大で伺うことを保留しました。



蒲郡マンボウ栈橋前で認定書とお渡ししました

未来へ！持続可能な開発 バリアフリーへのあゆみ

- 1990年 障害者が使えるマリーナ調査(関東地区)
- 1994年 【ハートビル法施行】
スロープの走路面に関する研究開発。(東京都補装具研究所と協業)
夢の島マリーナ、スロープ改造。
- 1996年 マリーナ等の障害者設備の研究開始。
- 1997年 スロープ及びポンツーンの傾斜角度等の研究実施。
障害者用栈橋(バリアフリー施設)の設置活動開始。
- 1998年 「マリーナ障害者用設備指針」発行。
建設省、平成11年度概算要求に既存施設有効活用促進事業の創設
(バリアフリー化の為に改造等)。
- 2000年 【交通バリアフリー法施行】
障害者用栈橋「蒲郡マンボウ栈橋」設置。
- 2002年 海の障害者マーク制定。
障害者用栈橋「蒲郡マンボウ栈橋」完成
- 2003年 「海外マリーナの障害者設備実例報告書」作成
- 2006年 【バリアフリー新法施行】(ハートビル法と交通バリアフリー法統合)
- 2014年 【国連障害者権利条約批准】
- 2015年 マリーナ障害者設備(バリアフリー)調査実施
- 2016年 【障害者差別解消法施行】(国、地方自治体は合理的配慮が義務)
泊地バリアフリー調査実施(林義則)
- 2018年 泊地バリアフリー調査II実施(林義則)
海の障がい者設備適合施設認定詳細検討開始。
「海の障害者設備指針」(協力:国土交通省港湾局)発行
- 2019年 海の障がい者設備適合施設認定開始(2020年コロナ禍で実地調査中断)
- 2021年 【障害者差別解消法が改定】3年後までに施行。(全事業者の合理的配慮が義務化)
海の障がい者設備適合施設認定、調査検討会開催。
海の障がい者設備適合施設認定調査開始(事業横断的な調査は日本初)
- 2022年 海のバリアフリー認定(海の障がい者設備適合認定)開始。